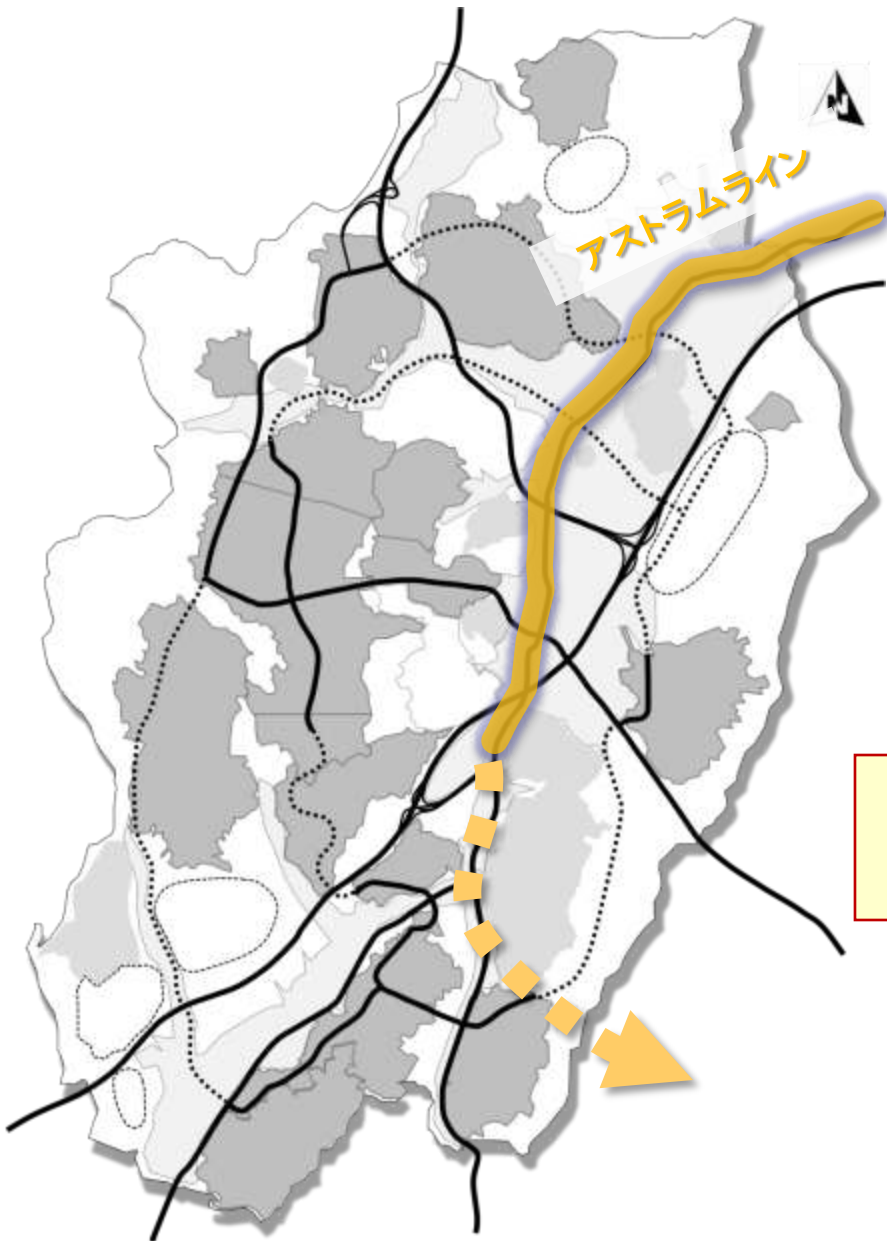


■ 広域公園前で止まっているアストラムライン



アストラムライン延伸計画

平成11年に広域公園前駅～西広島駅を第I期区間とするアストラムライン延伸計画を策定

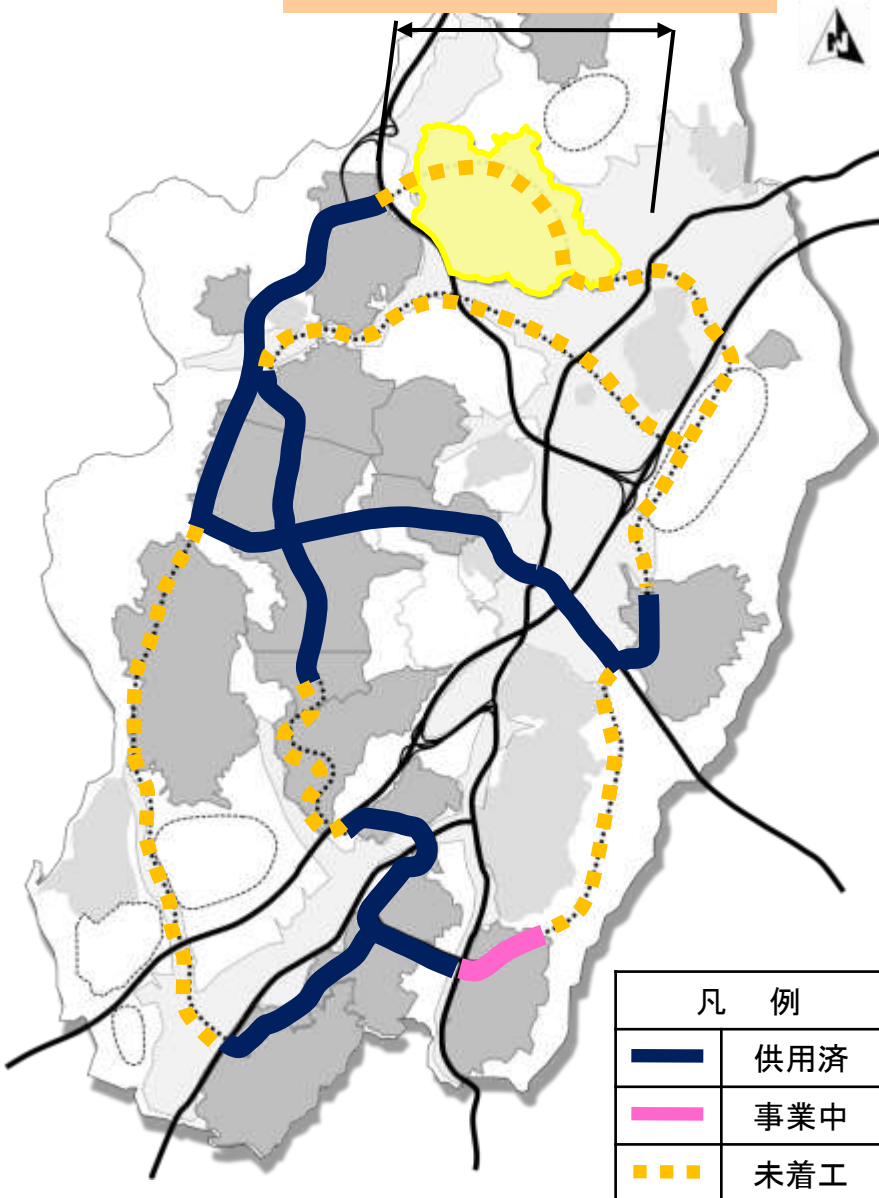


西風新都線
L=約6.2km
高架方式(一部トンネル)

経済環境の悪化などにより、
事業化に至っていない

道路整備の中断

外環状線善當寺工区



開発事業の遅れにより、
外環状線善當寺工区の
道路整備事業を中断

都市づくりに関する個別要望など

①都市内幹線道路（内環状線・外環状線）の整備について

梶毛南地区の内環状線や善當寺地区の外環状線等の早期整備

②幹線道路以外の道路整備について

地区内の主要な道路の改良や幹線道路未整備に伴う代替ルートの整備など

③土地利用について

企業が進出しやすいよう土地利用制限の緩和

④施設整備について

スマートIC、危機管理センターなどの整備

⑤広島高速道路について

- ・広島高速4号線の料金割引
- ・広島高速4号線と山陽自動車道の直結

⑥その他

- ・バス路線の充実
- ・奥畑川の整備
- ・町内会加入への働きかけ
- ・緊急時の防災体制の整備

4 都市づくり全体計画の見直し

- ◇ リーマンショックによる経済環境の悪化などから、民間開発が順調に進むことを前提とした現行計画が、現在の低成長時代には合わなくなっている。
- ◇ 西風新都内の交通課題への対応のため、幹線道路ネットワークの機能強化が求められており、必要な区間の幹線道路は着実に整備する必要がある。
- ◇ 去年の3.11東日本大震災の教訓を踏まえ、西風新都内の防災はもとより、本市全体の防災のあり方の中で、西風新都が果たすべき役割を考えていく必要がある。

■ 取り巻く社会情勢

- ◇ 景気の低迷
- ◇ 少子・高齢化
- ◇ ICT技術の発展に伴うライフスタイルの変化
- ◇ 価値観の多様化
- ◇ 地球温暖化への対応
- ◇ 東日本大震災を教訓とした防災や環境・エネルギー問題への意識の高まり

■ 世界に誇れる「まち」の実現に向けて — 市政推進にあたっての基本コンセプト— (抜粋)



○ 集約型都市構造の形成

地域ごとの特性や将来性等を踏まえつつ、集積した機能のうち、生かすべきものを選択し、強化する。

○ 都市内交通の円滑化

JRや路面電車、バス、アストラムラインなど公共交通の結節点整備をはじめ、利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成を図る。

○ 地場産業(中小企業)の振興

地場産業(中小企業)の振興を図り、地域経済の基礎であるヒト・モノ・カネの循環を活発化し、地域経済の振興と雇用の拡大を図る。

○ 企業誘致

西風新都について、現行の全体計画を見直し、新たな企業の誘致をより一層推進するとともに、地場産業の事業拡大の受皿として活用できるようにする。

○ 災害時における体制整備

地域の防災力を高めるとともに、災害時に被害を最小限に抑えることができるような体制整備に取り組み、災害に強く安心して生活できるまちづくりを進めていく。

- 本市を「世界に誇れるまち」にしていくため、西風新都を先導的な「**まち**」にする。
- 西風新都にヒト・モノ・カネを呼び込み、活性化し、それらが循環して豊かさの拠点として推進力を持った「**まち**」にする。
- 西風新都に住む市民が、安全に安心して生き生きと暮らせる「**まち**」にする。

■ 見直しの視点・方向性

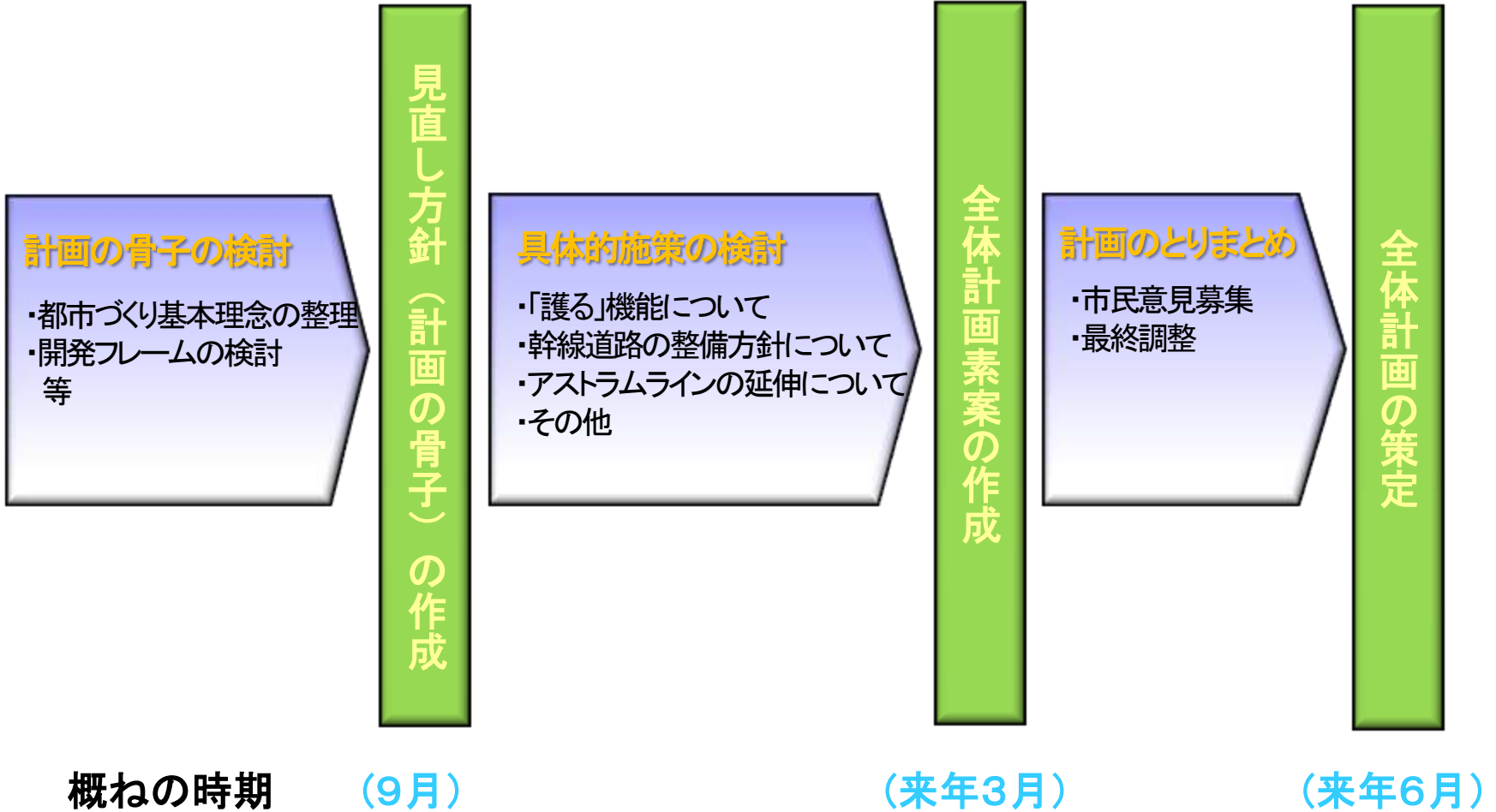
★ 従来の基本コンセプトである「住み・働き・学び・憩う」機能に新たに「**護る(防災)**」を追加。

★ 幹線道路整備方針を検討し、**実効性のある幹線道路整備プログラム**を策定。

★ 西風新都の都市づくりと密接に関連する**アストラムライン延伸のあり方**の検討。

★ 民間開発事業者や西風新都への進出企業の意欲を喚起するよう“**西風新都**”の**ブランド力の向上**に資する施策展開。

見直しの進め方



■ 今後の懇談会の開催予定

【第1回懇談会】(本日の会議)

「ひろしま西風新都都市づくりの全体計画の見直しについて」

- ・都市づくりの概要
- ・現状と課題
- ・全体計画の見直しについて

【第2回】(9月頃)

「見直し方針(計画の骨子)について」

- ・都市づくりの基本理念、都市機能の充実強化の方向性、主要な施策について等

【第3回懇談会】(11月頃)

「都市づくりの推進施策、土地利用計画、道路・公共交通の整備方針等について」

【第4回懇談会】(平成25年1月頃)

「全体計画素案について」

【第5回懇談会】(4月頃)

「全体計画(案)について」